



Quick

株式会社 QUICK

<http://www.quick.co.jp/>

所在地:

〒103-8317

東京都中央区日本橋室町2丁目1番1号

日本橋三井タワー

概要

日本経済新聞社グループの金融情報サービス会社として、世界の証券・金融情報をはじめ、政治・経済情報をリアルタイムで配信。

事業内容

- ・資産運用支援、注文執行業務の支援、情報ネットワーク構築支援サービスなど、証券・金融市場に関連する総合的なソリューションの提供

課題

- ・ライセンス管理の簡略化
- ・クリエイターの作業環境の改善とアウトプットの質の向上

ソリューション

Creative Cloud グループ版

デスクトップアプリ

- ・ Adobe Illustrator CC
- ・ Adobe Photoshop CC
- ・ Adobe Animate CC

サービス

- ・ Typekit

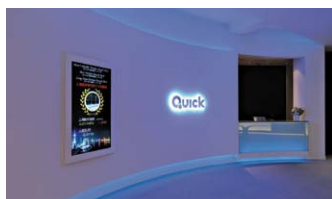
Adobe Stock (別売り)

株式会社 QUICK

金融情報ベンダーの新たなB to C戦略に

Adobe Creative CloudとAdobe Stockが貢献

価値を創造するナレッジプロデューサーとして、投資情報を世界中から集め、そこに独自の分析・評価を付加して、広く社会に提供する株式会社QUICK。金融機関などに設置されるデジタルサイネージ向けコンテンツを制作する同社は、早くからAdobe製品を活用してきた。Creative Cloudグループ版への移行は、ライセンス管理の省力化を実現するとともに、各種アプリケーションと合わせてAdobe Stockの活用やTypekitといったサービスの利用で、コンテンツ品質の一層の向上に貢献している。



導入メリット

ビジュアルクオリティ向上



Adobe Stockによって、クリエイターのイメージに合致したストックフォトがよりスムーズに利用できるようになった。

デザインの幅が拡大



Typekitによって、欧文フォントを中心に、ロゴ作成にも活用できる1,600に及ぶフォントが利用できるようになった

ライセンス管理の手間が1/3に削減



Windows版とMac版、動画クリエイター用とWebデザイナー用パッケージの選択が不要になったことで、ライセンス管理が大幅に簡素化。

必要なソフトが随時使えるように



クリエイターが必要と感じるソフトが、必要に応じて、管理部門の承認を得ることなく随時ダウンロードして使えるようになった。

■世界の投資情報をいち早く、分かりやすく配信

株式会社QUICKは、世界中から株式、債券、為替、コモディティ、デリバティブ、企業情報などに関する膨大なデータやニュースを集め、そこに独自の分析・評価を付加し、金融・資本市場に提供する企業だ。誰もが日々目にする「日経平均株価」をはじめとする各種指数の算出、マスコミなどへのデータ提供も同社が担う重要な役割の一つ。また証券会社の店頭などに設置されるデジタルサイネージへのコンテンツ提供も主要な業務になっている。それに加え、近年は上場企業を担当する美少女キャラクターが株価や財務情報を発信するサイト「IRroid」の運営など、B to C向けの独自の取り組みも進めている。人財・総務本部 総務部 部長の内山 清氏はいう。「社の顧客はこれまで、証券会社や機関投資家のトレーダーが中心でした。しかし今後は、一般消費者まで視野に入れた情報発信を行っていきたいと考えています。『IRroid』はその取り組みの一例です」

世界中の金融情報ベンダーの中でも一線を画するこうした取り組みは、同社の大きな特長にもなっている。

■クリエイターの内製環境実現によるアウトプットのスピードが加速

B to Cを念頭に置いた同社の取り組みを支えてきたのが、IllustratorをはじめとするAdobe製品だった。設立間もない1974年から日本初となるオンラインによるリアルタイムの証券情報を提供してきた同社が、Adobe製品をはじめ導入したのは1998年のこと。法務・リスク管理室 次長 兼 人財・総務本部 総務部 山本 拓氏は振り返る。「営業用の販促ツールを内製するため、Adobe PageMakerを導入しました。一般的なワープロソフトでは、我々が求める見やすさ、読みやすさを実現することは難しいと判断したことがその理由です」



人財・総務本部 総務部 部長
内山 清氏



法務・リスク管理室 次長
兼 人財・総務本部 総務部
山本 拓氏



コンサルティング営業本部
コンテンツサービスグループ プランナー
飯塚 直樹氏



株価や為替などのリアルタイムレートを表示するデジタルサイネージにも、Adobe Stockのイメージ画像を採用している

Adobe Creative Cloud グループ版に関する詳細

<http://www.adobe.com/go/cct>

Adobe Stock に関する詳細

http://www.adobe.com/go/cc_stock



アドビ システムズ 株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー
www.adobe.com/jp/
Adobe Systems Incorporated
345 Park Avenue
San Jose, CA 95110-2704
USA
www.adobe.com

現在同社は、Illustrator CC、Photoshop CC、Animate CCなどを使いこなし、各種コンテンツを内製している。「情報は鮮度が命です。外注するよりも、自分たちで作った方が早いことが社内で制作する一番の理由です。現在は協力会社に一部の業務を委託していますが、その修正作業などは基本的に社内で行っています」(山本氏)

■Creative Cloudによって管理の手間が1/3に軽減

Creative Cloudに移行した第一の理由は、それによってライセンス管理が容易になる点にあった。「当社の場合、標準OSはWindowsですが、Macを使うデザインスタッフも少なくありません。そのためこれまで、Adobe製品のライセンスをOS別に管理する必要が生じていました。また、Creative Cloudへの移行によってハード故障に伴うライセンス移行の手間が不要になったこともメリットの一つ。体感的には、管理の手間は従来の1/3程度に軽減していると思います」(山本氏)

■クリエイターが必要なツールをいつでも使える環境を実現

Creative Cloudが提供する豊富なデスクトップアプリ、モバイルアプリ、サービスのすべてを使えるコンプリートプランを選択した背景には、クリエイターの利便性を第一に考えたいという狙いがあった。「既存ソフトのバージョンアップや新ソフト導入に関する現場からの要望は常にあります。しかし管理上、そうした要望に随時対応するのは難しいのも現実です。コンプリートプランの移行によってこのジレンマからようやく解放されました。やはり、現場に苦勞はかけさせたくありませんからね」(山本氏)

デジタルサイネージ用コンテンツの制作部門を束ねる、コンサルティング営業本部 コンテンツサービスグループ プランナーの飯塚直樹氏はそのメリットをこう説明する。「コンテンツ制作は一つのアプリだけでは完結しません。例えば、デジタルサイネージ用コンテンツは、基本的にIllustrator CCでデザインを行い、Animate CCに読み込むという順序で行っています。以前は、動画編集が必要になると、動画編集アプリが含まれたパッケージを使っているデザインスタッフに作業が集中してしまうという状況も生じていました。こうしたスタッフのストレスが解消できたことは、コンプリートプランの大きなメリットであると考えています。スタッフの多くはCreative Cloudグループ版コンプリートプランから3つ以上のデスクトップアプリをダウンロードして使っていますから、コスト面でも有利と言えますね」

■クオリティの高い写真をスムーズに利用できるAdobe Stock

欧文フォントを中心に約1,600種類のフォントが自由に使える、Creative Cloudのフォントライブラリー、Typekitも飯塚氏が注目する点の一つ。「ユーザーであればそのすべてが自由に使えて著作権を気にせず、そのままロゴにも展開可能という点はやはり大きな魅力ですね。すでにお客様に提供しているデジタルサイネージのフォントに使わせてもらっています」

さらに飯塚氏は5,500万点の高品質なストックフォトサービスAdobe Stockの存在も高く評価している。「画像の仮使用の段階では表示されるAdobe Stockのロゴマークがライセンスを取得(購入)することで自動的に消えるため、使用決定後、データを読み込み直す手間がなくなったことは、当社のデザインスタッフにとっても好評です。また、使わなかった写真や気になる写真は個人ライブラリに保存できるため、『以前見つけたあの写真を』という場合、すぐに目的の写真にアクセスできることも評価できますね」

同社がこれまで利用してきたストックフォトサービスの場合、ダウンロードはライセンス管理者しか入手できなかったが、Adobe Stockの場合、社内の担当者が自由に高解像度データを入手できる点も大きな魅力という。「つい数年前までは、デジタルサイネージは情報が正確に確認できればそれでよいと考えられていました。しかし現在、デジタルサイネージは、金融機関のブランドイメージ向上という役割も担うようになってきました。それだけに、高品質で使いやすいストックフォトサービスが果たす役割はとて大きいと思います」(山本氏)

現在、Creative Cloudグループ版を30ライセンス以上導入し、デジタルサイネージをはじめとしたクリエイティブ制作にフル活用している株式会社QUICK。同社のB to C戦略をCreative Cloudが支えていると言える。

※ Adobe Stock の素材数 5500 万点は 2016 年 8 月取材時時点のものです。

Adobe, the Adobe logo, Creative Cloud, Illustrator, and Photoshop are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated, in the United States and/or other countries.

Adobe, the Adobe logo, Acrobat, Adobe PDF logo, and Reader are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.
© 2016 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Printed in Japan.